

周波数の国際協調利用促進事業のための 海外展開プロジェクトに関する提案募集（概要）

1 背景及び目的

我が国は無線局の急増により周波数が逼迫している状況にあり、これを緩和するためには、電波のより効率的な利用に資する無線技術を導入することが必要です。狭い国土の中で可能な限り稠密にかつ効率的に電波を利用するため、我が国では、独自の高度な電波利用技術が発達しており、こうした優れた技術による電波システムについては、世界的な電波利用の高度化や周波数の逼迫状況を反映して海外でも注目されています。

我が国の周波数事情に合う周波数利用効率の高い電波システム技術について、その優位性をアピールし海外展開を推進することで、国際的な優位性により国際標準化されるようになり、我が国の周波数逼迫緩和に資するとともに、我が国の経済成長、技術の国際競争力強化を図ることにもつながることとなります。

本公募は、海外展開の可能性が高く周波数の有効利用に資する我が国の優れた電波システムについて、国内外における技術動向等の調査、海外における実証実験、官民ミッションの派遣、技術のユーザーレベルでの人的交流等の海外展開プロジェクトを広く募集するものです。

2 提案募集の対象

「我が国で開発された国際的に競争力のある有望な無線技術」を対象とし、具体的には、以下の条件を満たす海外展開プロジェクトについて提案募集を行いました。

- ① 我が国で開発された技術であり、標準化されている又は標準化予定があること。
- ② 他国にはない独自の技術又は、他国の同様のシステムに比較して技術的に高い優位性を有していること。
- ③ 他国の同様のシステムに比較してコスト的に同等又は優位であること（メンテナンスコストも含む）。
- ④ 電波が有効利用されること（利用周波数の狭帯域化、稠密な電波利用等）。
- ⑤ 事業の実施期間については、平成 29 年度内とする。